

配送エラー処理 の部

設定分類

- [全体的オプション](#)
- [パスワード](#)
- [言語オプション](#)
- [会員管理...](#)
- [普通配送オプション](#)
- [「まとめ読み」オプション](#)
- [プライバシー・オプション...](#)
- [\[配送エラー処理\]](#)
- [保存書庫オプション](#)
- [メール <-> ニュース相互配達](#)
- [自動応答](#)
- [添付ファイル除去](#)
- [話題](#)

他の管理項目

- [未処理の申請を処理](#)
- [リスト総合案内のページへ](#)
- [公開 HTML ページとテキストファイルを編集する](#)
- [リストの保存書庫に移動する](#)
- [**ログアウト**](#)

以下の項目を変更して、変更を送信するのボタンを クリックして送信してください。

配送エラー処理

Mailmanの自動エラーメール自動処理システムを制御する方針を設定します。処理の概要は以下の通りです。

Mailmanは、受け取った配送エラー通知から2種類の情報を取得しようとします：つまり、会員のメールアドレスと、エラーを起こした原因の深刻度です。深刻度は強または弱で、それぞれ致命的エラーまたは一時的エラーに対応します。判断が難しい場合は、強い深刻度とします。

エラーメールから会員アドレスが取り出せなければ、そのエラーメールは無視されます。アドレスが取り出せた場合は、その会員にエラー点が与えられ、エラー通知ごとに得点を加算します。強いエラーは1点、弱いエラーは0.5点を加算します。エラー得点は1日に1回加算します。したがって、ある会員から強いエラーが1日に10回あっても、その日は1点しか加算されません。

ある会員のエラー点が[最大エラー点](#)を超えると、会員権を停止します。会員権が停止された会員は、(本人または管理者が)明示的に会員権を復活するまで、リストからのメールを受け取ることはできません。しかし、会員権を停止していることが時々通知され、その通知には会員復帰の方法が書かれています。

また、その会員に宛てて出す通知は、[通知の回数](#)と[頻度](#)の2つの変数で制御できます。

さらにもう一つ重要な設定項目があります：ある程度の期間が過ぎたら、-- その間にその会員からのエラーメールが来なかつたら -- エラー情報は、[古くなった](#)ものとして破棄されます。したがって、この値とエラー点を調整することで、エラーを起こす会員への配送を停止するまでの期間を設定できます。これらの値は、リストに流れる投稿の頻度により調整してください。

説明

値

配送エラー検知の感度

Mailman にエラーメールの自動処理をさせますか?
([bounce_processingの詳細](#)).

い
 は
い
え

会員権を停止する最大のエラー点. これは浮動小数でもよい.
([bounce_score_thresholdの詳細](#)).

5.0

この日数の間配送エラーが無ければ, 配送エラー情報を破棄する. 記入する値は整数.
([bounce_info_stale_afterの編集](#)).

7

会員権停止の警告メールを何回送ってから, 実際に その会員をメーリングリストから削除しますか? 0 に設定すると, エラー点が最大値に達した時点で即座に退会処理します. 記入する値は整数.

3

([bounce_you_are_disabled_warningsの編集](#)).

会員権停止の警告メールを何日間隔で送りますか? 記入する値は整数.
([bounce_you_are_disabled_warnings_intervalの編集](#)).

7

通知

配送エラー自動検出で検知できなかったエラーメールをリスト管理者 宛に送ります
か? はいを推奨します.
([bounce_unrecognized_goes_to_list_ownerの詳細](#)).

い
 は
い
え

エラー通知のため配送を停止する場合, リスト管理者に通知しますか?
([bounce_notify_owner_on_disableの詳細](#)).

い
 は
い
え

配送エラーによる退会処理を通知しますか?
([bounce_notify_owner_on_removalの詳細](#)).

い
 は
い
え



version 2.1.18-1

